

加古川市における連携中枢都市圏制度の取組について

1 播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンにおける連携事業

加古川市連携事業数：43 事業

※姫路市のみが取り組む「(2) 高次の都市機能の集積・強化」を除く事業数：39 事業

■内訳

分 類	全体	加古川市
(1) 圏域全体の経済成長のけん引	13	13
(2) 高次の都市機能の集積・強化	4	4
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	27	26
ア 生活機能の強化に係る政策分野	15	14
イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	6	6
ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	6	6
合 計	44	43

2 主な連携事業の進捗状況

(令和8年3月現在)

分類	ビジョン (頁)	事業名	主な事業内容、進捗状況
(1)	39	企業誘致の推進	・ 姫路市と合同で企業立地フェア 2025（東京ビッグサイト）に出展し、東京圏の企業等に対して、旧公設地方卸売市場跡地をはじめとする圏域内の用地情報や補助制度の周知など企業誘致活動を行った。
(1)	40	地場産品・特産品の高付加価値化の推進	・ 全国陶器市等の各種イベントにおいてブースを出展し、播磨圏域内の地場産品等のPRを実施。
(1)	42	戦略的な広域観光の推進	・ 広域観光パンフレット「好きになる播磨」をイベントで配布するとともに、高速道路のサービスエリア（10箇所）に設置し、圏域外の住民に向けて、圏域の観光情報や魅力を発信した。 ・ 姫路観光情報サイト内に設置している広域観光情報ウェブページ「はりま路をゆく」により、圏域内の市町の魅力を発信した。
(1)	42	インバウンド観光の推進	・ 神戸空港の国際便就航や円安に伴うインバウンド需要を見据え、広域観光パンフレット「好きになる播磨」の英語版データを作成した。
(1)	43	播磨圏域の情報発信	・ 圏域内の歴史や産業、文化等の資源や魅力について紹介する冊子「はりま読本」（全123ページ）を作成し、圏域内の小学6年生へのデータ配付等を通じて情報発信を行った。
(3)	49	図書館の相互利用促進	・ 播磨圏域各市町在住者に対して、加古川市の各図書館において利用登録と貸出等の利用サービスを行っている。（R7年度の播磨圏域新規登録者数1,020人 → R7年度全新規登録者の14%、播磨圏域登録者総数9,693人 → 登録者全体の約13%） また、加古川市民も圏域各市町の図書館で利用登録を行うことができる。（998人 → 加古川市民のR7年度新規者数） ・ 播磨圏域の登録者は、Webサービス用のパスワードを登録して資料の貸出予約や加古川市電子図書館の利用などができる。（R7年度末2,622人 → パスワード登録者全体の約12%） ・ 加古川市の図書館HPの「リンク集」に「8市8町相互利用図書館横断検索」サイトを設定している。

			(サイトの URL : https://uf-pub01.ufinity.jp/himeji_lib/)
(3)	51	人材の確保・育成支援	・ハローワークや関係機関と連携し、関係市町の事業者や求職者等を対象とした合同企業説明会を開催した。 (加古川市開催：2回 参加事業者数：52社)
(3)	53	環境意識の啓発	・令和7年6月14日開催のデコ活イベント「エコ暮らし相談会」を開催し、姫路市のHPにおいても周知することで、より広い範囲への周知を図った。(来場者延べ311人)
(3)	60	職員研修事業	・8市8町1団体で構成される播磨自治研修協議会が主催する研修に、延べ72名の職員(受講生69名、講師3名)を派遣した。また、実施された研修(全24講座)のうち3講座について事務を担い研修を実施した。